

8. 1. 日仏国際共同研究 CREST-ANR NARRABODY 3rd Meeting

2025年4月25日に、フランス・リヨンで日仏国際共同研究 CREST-ANR NARRABODY 3rd Meeting が開催されました。

[CREST : 国立研究開発法人科学技術振興機構 \(JST\) による戦略的創造研究推進事業](#)

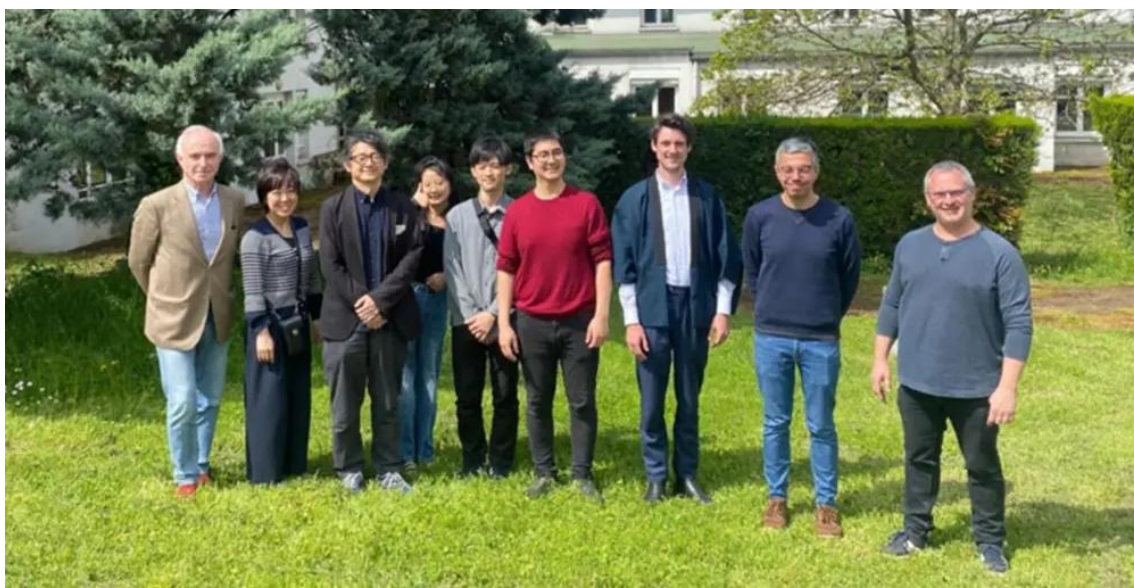
[ANR : The French National Research Agency \(ANR\)](#)

[NARRABODY : Narrative embodiment: neurocognitive mechanisms and its application to VR intervention techniques](#) (ナラティブ・エンボディメントの機序解明と VR 介入技術への応用)

本ミーティングでは、疼痛分野におけるナラティブ・エンボディメントの枠組みで、自己効力感や脳波のネットワーク解析、上肢運動など、各研究に関する進捗報告が行われました。方法論に関する助言や革新的なアイデアの提案がなされ、活発な議論が交わされました。また、議論の中で国際共同研究が創発され、貴重な機会となりました。

詳細はこちら

[日仏国際共同研究 CREST-ANR NARRABODY 3rd Meeting が開催されました！](#)



8. 2. 日仏国際共同研究 CREST-ANR NARRABODY 1st International Conference

2026年3月5-7日に、フランス・ボジョレーにて日仏国際共同研究 CREST-ANR NARRABODY 1st International Conference “(Re)Integrating Selves” が開催されました。

[CREST : 国立研究開発法人科学技術振興機構 \(JST\) による戦略的創造研究推進事業](#)

[ANR : The French National Research Agency \(ANR\)](#)

[NARRABODY : Narrative embodiment: neurocognitive mechanisms and its application to VR intervention techniques](#) (ナラティブ・エンボディメントの機序解明とVR介入技術への応用)

本カンファレンスでは、ナラティブと身体性の関係を基盤とした「自己統合 (self-integration)」というテーマのもと、哲学、認知神経科学、神経心理学、リハビリテーション科学など多様な分野の研究者による学際的な議論が行われました。特に、身体経験とナラティブの相互作用を通じて自己がどのように形成・変容するのかという問題について、理論的・実証的な観点から多くの新しい視点が提示されました。その中でも、リハビリテーション科学の観点から身体経験と自己の再構成を探究する研究は国際的にも高い関心を集め、畿央大学の研究グループによる取り組みは、本テーマの発展に重要な示唆を与えるものとなりました。

詳細はこちら

[日仏国際共同研究 CREST-ANR NARRABODY 1st International Conference “\(Re\)Integrating Selves” が開催されました。](#)



8. 3. WEB シンポジウム 運動学習の神経メカニズムとリハビリテーションへの応用を開催


2026年2月5日（木曜日）の夜にシンポジウム「運動学習の神経メカニズムとリハビリテーションへの応用」を開催しました。

今回の研究会では、まず東京大学の濱田裕幸先生に運動学習の神経メカニズムについて、話題提供して頂きました。続いて、歩行を含む運動課題における感覚運動の不一致と運動学習について、宝塚医療大学の林田一輝先生に話題提供して頂きました。両講演を通して、運動学習の神経メカニズムを基盤として、それがどのように運動制御やリハビリテーションへとつながり得るのかを、参加者の皆さまと共に議論を深めました。

【詳細はこちら】 <https://peatix.com/event/4743714>


2026年 2月5日（木） 19：00–20：30（web ライブ配信のみ）

特別企画シンポジウム 運動学習の神経メカニズムとリハビリテーション応用



「運動学習を支える脳内メカニズムとリハビリテーションへの展開」

東京大学 大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 特任講師
濱田 裕幸 先生



「歩行を含む運動課題における感覚運動不一致と運動学習」

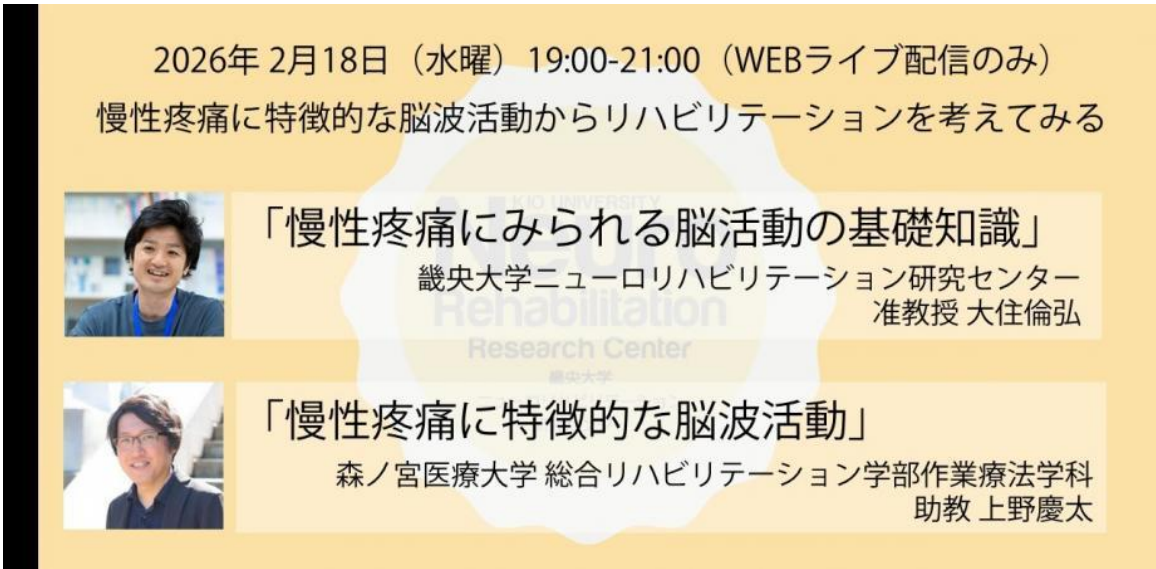
宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 助教
畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター 客員研究員
林田 一輝 先生

8. 4. 第4回 痛みのニューロリハビリテーション研究会を開催しました


2月18日、第4回「痛みのニューロリハビリテーション研究会」をオンライン開催しました。今回は森ノ宮医療大学の上野慶太先生を講師にお迎えし、「慢性疼痛と脳波（EEG）」をテーマに深掘りしました。


「脳波を操作して痛みは変わるのか？」という問いに対し、最新の知見から臨床応用のヒントまで、非常に濃密な議論が交わされました。痛みのリハビリテーションに携わる研究者、臨床家にとって、学びの多い研究会になったものと思います。

【詳細はこちら】 <https://peatix.com/event/4722850>



2026年2月18日（水曜）19:00-21:00（WEBライブ配信のみ）
慢性疼痛に特徴的な脳波活動からリハビリテーションを考えてみる

**「慢性疼痛にみられる脳活動の基礎知識」**
畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター
准教授 大住倫弘

**「慢性疼痛に特徴的な脳波活動」**
森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部作業療法学科
助教 上野慶太